

第13期科学ジャーナリスト塾の塾生を募集中
いよいよ10月7日(火)に開講

2014.9.27

日本科学技術ジャーナリスト会議 (JASTJ、小出重幸会長) は10月7日から半年間、「第13期科学ジャーナリスト塾」を開講します。現在、塾生を募集中です。

今期の塾は「科学を伝えること」がテーマです。3・11の大地震・津波や東電福島第一原発事故、さらにSTAP細胞の報道などの経験からも、課題を突き付けられている「科学を伝える」こと。塾では「こころざし」と「技」をはじめ、試行錯誤や失敗体験からの教訓、さらに科学コミュニケーションの方法や工夫など、実践例に学びます。塾生全員が発言し、考え、書くことができるように、JASTJの会員がサポーターになって応援します。

塾生はJASTJ月例会にも無料で出席できます。その報告を執筆した優秀作は会報に掲載し、図書券を贈呈します。科学ジャーナリズムや科学コミュニケーションに関心のある方、会員はもちろん、学生、社会人で会員でない方の参加も大歓迎です。

【開催の要領】

開催日：10月7日(火)～3月16日(火)までの第1、第3火曜日の午後7時～9時。(1月は第2火曜日)。場所：千代田区内幸町2-2-1の日本プレスセンタービル8階の特別会議室。地下鉄「霞ヶ関駅」下車2-5分、都営地下鉄「内幸町」下車2分。

【塾の内容】

I) こころざしと技

- ① 10月7日 塾のガイダンス／参加者の関心・動機を出し合う／塾創設の「こころざし」
- ② 10月21日 映画「足尾銅山の光と影」を見て、文を書く(解説：藤田貢崇)
- ③ 11月4日 ライティングの文章作法と会報執筆の心得(指導：武部俊一、高木勲生)

II) 科学技術とディス・コミュニケーション

- ④ 11月18日 伝わらないという現象……医療現場でのコミュニケーション(話題提供：西野博喜)
- ⑤ 12月2日 食品や遺伝子組み換えのリスクコミュニケーション(話題提供：北村行孝、佐々義子)
- ⑥ 12月16日 「記者らが語った失敗」に何を学んだか……原発、地震、豪雨災害、IT技術(発表者：12期塾卒業生＝都丸亜希子、早野富美、平塚裕子、友久保彦ら)

III) 実戦に役立つ

- ⑦ 1月13日 科学編集・ライターの仕事をするには(話題提供：塾OBの宇津木聡史、漆原次郎)
- ⑧ 1月20日 環境・宇宙分野での取材・まとめ方、本の出し方(話題提供：室山哲也、滝澤美奈子)
- ⑨ 2月3日 WEBでの発信効果と留意点(話題提供：高橋真理子)

IV) 地域から世界に

- ⑩ 2月17日 地域を掘り下げて世界を見る(話題提供：飯島裕一)
- ⑪ 3月3日 ドキュメント映画「いのち」のストーリー(話題提供：林勝彦)
- ⑫ 3月16日 塾で何を学んだか、最終レポート発表

【塾生の定員・塾費】

定員：約20人、塾費：全体(12回)通して15,000円(文章指導を含みます。月例会は無料)。

その日のテーマを選んで塾に部分的に参加する場合、JASTJ会員は1回1,000円、非会員は1回2,000円。

【申し込み方法】

名前、仕事(所属など)、連絡先(住所、メールアドレスなど)、参加理由・動機(短く100文字程度で結構です)、JASTJ会員かどうかを記入のうえ、hello@jastj.jpへ、「塾申し込み」と添えてメールでお送りください。

<塾運営> 佐藤年緒(塾長、元時事通信編集委員)、西野博喜(副塾長、JASTJ理事)、柴田鉄治(元朝日新聞科学部長・社会部長)、藤田貢崇(JASTJ事務局次長)、中野薫(JASTJ事務局塾担当)

<サポーター> 小出重幸(JASTJ会長、元読売新聞科学部長)、引野肇(JASTJ事務局次長、元東京新聞科学部長)、高橋真理子(朝日新聞編集委員)、室山哲也(NHK解説委員)、高木勲生(JASTJ会報編集長、元日経サイエンス編集長)、武部俊一(元朝日新聞論説委員)、牧野賢治(元毎日新聞編集委員)、横山裕道(元毎日新聞論説委員)、飯島裕一(信濃毎日新聞編集委員)、山本威一郎(JASTJ理事)、滝澤美奈子(サイエンスライター)、佐々義子(くらしとバイオプラザ21)、林勝彦(元NHKディレクター)、漆原次郎(フリーライター)、宇津木聡史(科学誌編集)、都丸亜希子(会員、第12期塾生)、鈴木美慧(会員)

【事務局】 日本科学技術ジャーナリスト会議(JASTJ) 〒112-0001 東京都文京区白山5-1-13 東京富山会館ビル5F 会議室
ホームページ www.jastj.jp/ 問い合わせ・連絡先メール hello@jastj.jp